



八王子市子どもすこやか宣言普及啓発事業

平成28年度 子供観覧会

報告書



八王子市



八王子市子ども家庭部



【もくじ】

1、子どもにやさしいまちづくりを目指して・・・・・・・・・・	2
2、「八王子市子どもすこやか宣言」と「子どもの権利条約」・・・・・・・・	4
3、八王子市が目指す子どもの参画のかたち・・・・・・・・・・	5
4、子どもが、まちづくりの主体者～子ども企画委員募集～・・・・・・・・	6
5、第1回子ども企画委員学習会・・・・・・・・・・	7
6、第2回子ども企画委員学習会・・・・・・・・・・	8
7、子どもの声、届けます～子ども意見発表会～・・・・・・・・・・	9
8、子どもの身近なところで～子どもの遊び場・居場所である各児童館での活動～	11
9、子どもの伴走者、そして、まちづくりへの参画～学生リーダーの活動～	16
10、子どもの声に耳を傾けます～子どもと大人の意見交換会～・・・・・・・・	19
11、子どもたちの声～子ども企画委員の意見・提案～・・・・・・・・・・	20
12、活動経過と子ども意見発表会に協力していただいた方・・・・・・・・	25



1、子どもにやさしいまちづくりを目指して

(1) “子どもにやさしいまちづくり”

八王子の未来を担う子どもたちを健やかに育成していくためには、子どもたちの安全と安心が守られ、子どもたちが自分らしく主役として輝けるまちづくりが不可欠です。

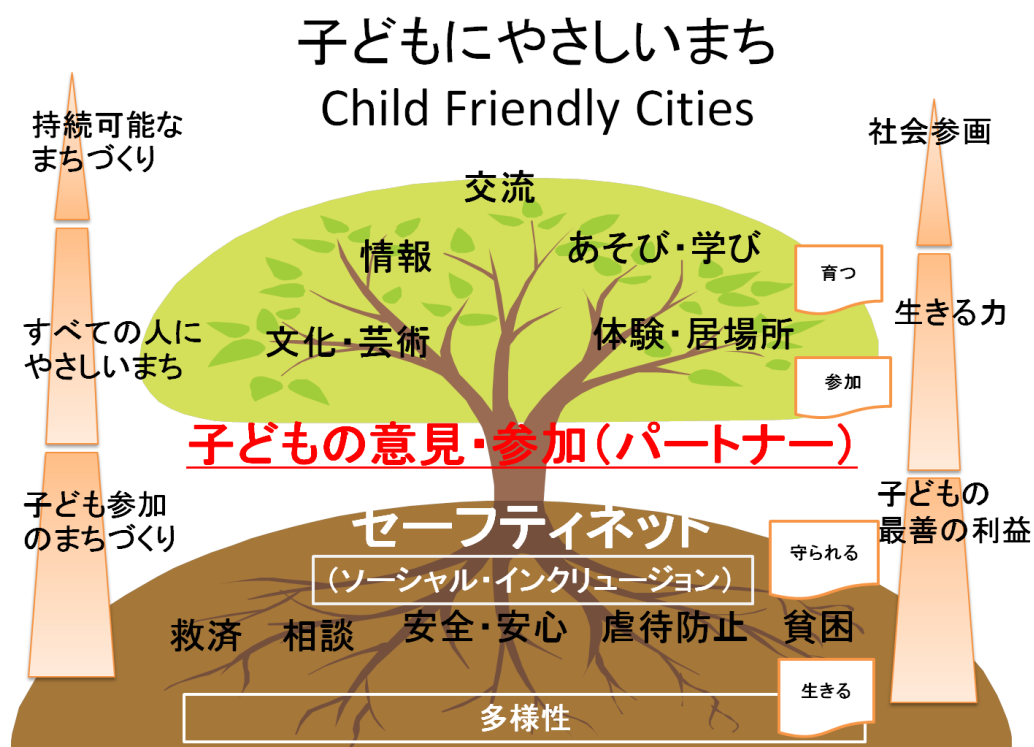
児童虐待やいじめなど、子どもたちの安心が脅かされ、いのちが奪われることは、断じてあってはなりません。

すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、子どもたちの夢や生きる・学ぶ・育つ権利が守られることを、私たち大人が最善の努力を尽くして保障していかなければなりません。

そのためには、子どもたちの声を受け止め、一緒に未来の夢を語り合いながら、子どもの権利を大切にするまちづくりに取り組んでいく必要があります。

また、無限の可能性を持つ子どもたちの成長と自立のためには、子どもたちが、子どもらしくのびのびと暮らすことができるよう、子どもの視点を取り入れたまちづくりを行っていくという考え方も必要です。

このように「子どもにやさしいまちづくり」を進めていくことで、子どもたちが人や社会とのかかわりとつながりを大切にしながら成長し、八王子の未来のまちづくりに参画していきます。





(2) 市の計画

①「ビジョン すくすく☆はちおうじ」

平成 27 年 3 月に策定した、第 3 次八王子市子ども育成計画「ビジョン すくすく☆はちおうじ」。

この計画には、次代を担う子どもたちに「このまちが好き」「このまちで住み続けたい」と感じてもらうため、子どもの権利条約を踏まえた「子どもにやさしいまち」の実現を目指す基本理念を定めました。

また、この計画を策定するうえで子どもの意見が計画に反映されるよう取り組んできました。

すくすく☆はちおうじ 基本理念

みんなで育てる みんなが育つはちおうじ

すべての子どもたちが笑顔で成長し 夢に向かってはばたくことができるように
地域で子どもを育む 子どもにやさしいまち

すべての家庭が安心して子育てができ 育てる喜びを感じられるように社会全体
で子育てを支える 子育てしやすいまち

未来を託す子どもたちをみんなで育て
家庭も地域も一緒に育つことで 郷土への愛着を深め
八王子の持続可能な発展と すべての市民の幸福を高めていくことをめざします

②「子どもにやさしいまちづくり部会」

平成 27 年 10 月に、「子どもにやさしいまちづくり」の積極的な推進を図るため、社会福祉審議会児童福祉専門分科会に「子どもにやさしいまちづくり部会」を設置しました。子どもの主体的な関わりや子どもの生きる力の育みについて、重点的に提案・意見をいただくことで、「子どもにやさしいまちづくり」を目指します。

また、子どもの参画や相談・救済についての仕組みづくりや本市にふさわしい条例の制定を検討しています。

すくすく☆コラム

子どもの意見を反映します ～市制 100 周年記念事業「ビジョンフォーラム」～

市では、平成 29 年に市制 100 周年をむかえるにあたって、平成 29 年から 8 つのテーマにちなんだ、フォーラムを実施します。各フォーラムでは次世代を担う子どもの意見を取り入れることとなっています。

子どもたちは、事前に各テーマについて学び、その未来像を話し合い、意見としてまとめます。そして各所管は、子どもたちの意見を聞き入れたうえで、パネラーが討論を行い、提言をまとめていきます。





2、「八王子市子どもすこやか宣言」と 「子どもの権利条約」



「未来を担う子どもたちがみんな幸せに、そして責任ある大人になってもらいたい」「自然がたくさんある八王子で生き活きと生活し、自分の可能性を伸ばして欲しい」というのは、私たちの願いです。

この願いを明文化し、世界中の子どもが持っている権利を守る規範として、国連で「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」が平成元年（1989年）に採択され、日本は平成6年（1994年）にこれを批准しました。

市では「子どもの権利条約」の考え方を取り入れながら、平成13年（2001年）2月に「八王子市子どもすこやか宣言」を行いました。

そして、多くの方に「子どもの権利条約」の考え方や「八王子市すこやか宣言」を知っていただくために、子どもの権利に関するイベントやシンポジウムを開催してきました。

また、「子ども会議」（平成13年度から19年度）、「子ども議会」（平成20年度）、「子どもミーティング」（平成21年度から24年度）、「子ども意見発表会」（平成25年度から28年度）という活動を通して、子どもが意見表明し、まちづくりに参画していく取組みを創出してきました。

市は、子どもの権利を大切にすまちづくりを行い、子どもにやさしいまちづくりの推進をめざします。

【八王子市子どもすこやか宣言】

- 1 わたしたちは、人にはみんな違いがあり、みんなよいところをもっていることを認め、お互いに相手を尊重します。
- 1 わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに、好きなことに夢をもち、元気にくらしします。
- 1 わたしたちは、しっかりと自分を表現し、自分の意見や行動に責任をもちます。
- 1 わたしたちは、子どもたち一人ひとりが大切にされ、安心して生活できる家庭を望みます。
- 1 わたしたちは、家庭や学校そして地域で、学習する楽しさがわかり、自分の可能性を伸ばすことのできる環境を求めます。

平成 13 年 2 月 4 日 八王子市



3、八王子市が目指す子どもの参画のかたち

子どもが権利の主体として尊重されることがすべての基本になります。そのすべての子どもが持てる権利をユニセフは、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利＝思いや意見を聞いてもらえる権利」の4つに整理しました。

なかでも「参加する権利」を保障するには、大人が、子どもの意見を聴き、子どもをまちづくりのパートナーと認め、受け止めていくことが重要になります。理論的に構築され、整理された意見だけではなく、子どものありのままの気持ちが意見です。子どもの発する言葉は、よりよく生きたい、よりよく生活したいという素直な感情の発露です。その意見を受け止める大人、家庭、地域、学校など、子どもを取り巻く環境のすべてが子どもの参画について寛容でなければいけません。自分の意見が地域や社会で受け止められる経験は、子どもにとって大きな自信となり、地域への愛着にもつながります。これまで、様々な形式を試行錯誤しながら、参画の活動を推進してきました。

平成13年から19年度までの毎年、「子ども会議」において、子どもと大人が地域の遊び場づくりのため、地域新聞を作成するなど、子どもの生活環境を考えました。平成20年度は、子どもが議員となり、議場で市長にまちづくりに対する提案を行う「子ども議会」を開催しました。その後、平成21年から24年度まで毎年、「食」「防災」「八王子の自然」などテーマを絞り、現地学習やワークショップを行い、子どもが意見発表をしました。そして、平成25年度に「こどもによるこどものアンケート調査」を行い、子ども自身が4,776枚の回答を集め、結果を受けて検討を繰り返し、子どもがまちづくりに対する提案などをしてきました。

いずれも、子どもとロールモデルとなる若者（学生）、子どもと地域がつながる橋渡しになる大人が、子どもを支援してきました。

また、ある特定の年齢や子どもの切り取った場面ではなく、生活の中で子どもの意見を聴く場所として、0歳から18歳の子どもの居場所である「児童館」に焦点をあてて活動してきました。

今後は、子どもの意見表明機会も子どもにやさしいまちづくりの視点で再構築し、子どもが健やかに育ち、子ども自身がまちづくりの主体者となる継続的な「参画のかたち」を目指します。

そして、子どもの意見や提案を、子ども育成計画に反映したり、浅川に設置している看板の改善などの意見に対して改善結果を報告したりするなど、今まで以上に子どもの意見を真摯に受け止めて「実現のかたち」にしていきます。



4、子どもが、まちづくりの主体者

～子ども企画委員募集～

広報、ホームページなどによる公募と、児童館や関係機関が、子どもへ働きかけて参加を募りました。市長と教育長に意見発表をする子ども企画委員として小学5年生から高校2年生までの子どもが9名集まりました。このうち半数以上の5名が、3年間継続的に参加をしている子どもでした。このほか、身近な児童館で活動する館内子ども企画委員が15名集まりました。

【子ども企画委員募集チラシ】

【平成 28 年度「子ども意見発表会」～子どもたちが考える未来の八王子～】

子ども企画委員を大募集！

テーマ：「八王子の自然を活かした遊び」



みなさんが暮らしているまちは、みなさんにとって暮らしやすいまちですか？
みなさんの心と体を育てる「遊びや体験」「空間や環境」「仲間や地域とつながる場所」はありますか？
「八王子の好きなところは？」との質問に、多くの子どもが「自然が多いところ」と言います。
自然環境を活かした遊びや体験場所があれば、子どもにとって住みやすく、住み続けたいと思うまちになりますか？
事前学習会で学習や意見交換をして市長・教育長に意見発表を行いますか。

【取り組み】

①6月12日（日）第1回子ども企画委員学習会

午前 10～12 時 市役所 501 会議室
*「八王子のシティプロモーション～八王子の魅力～」の学習
*「遊びや遊び場」の学習

②7月24日（日）第2回子ども企画委員学習会

午前 10～12 時 市役所 501 会議室
*意見を具体的に作る意見交換
*発表の原稿作り

③9月4日（日）子ども意見発表会（本番）*予定

午後 2 時 30 分～4 時 市役所 801 会議室
*市長・教育長への意見発表

【対 象】小学 5 年生から高校生年齢まで

【定 員】なし

【申込期間】5月16日（月）～6月1日（水）

【申込方法】利用している児童館、近隣児童館、下記の中野児童館のいずれから「申し込み用紙及び写真公開等の許可について」を取得し提出してください。

【そ の 他】活動で使用する筆記具と 1 回 500 円分の図書券を用意します。
3 回の活動後に、子どもにやさしいまちづくりについて考えている委員の大人の方々との意見交換会が数回あります。希望者は参加できます。

【問い合わせ先】

八王子市子ども家庭部児童青少年課中野児童館

住所：八王子市中野山王 3-6-27 TEL・FAX 624-9559（担当 井垣）

ワクワク★わいわい
未来の八王子を語ろう！





5、第1回子ども企画委員学習会

6月12日（日）市役所の501会議室で、第1回子ども企画委員学習会を開催しました。小学5年生から高校2年生の8名の子ども企画委員が参加しました。今回の子ども企画委員は、平成26年度から活動している経験者や初めて参加をする子どもなど多様でした。学生リーダー8名のサポートにより、和やかで多くの意見が出る有意義な学習会となりました。

学生リーダーは、子ども企画委員の経験者や昨年度の経験者で、学生同士で事前に何度も研修会を行っていききました。子ども企画委員の気持ちを理解し、子どもの意見を尊重する心強いリーダーでした。

学習会は、アイスブレイクとして、学生リーダーの出すクイズに子ども企画委員が挑戦し、楽しい雰囲気の中スタートしました。

八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の子どもにやさしいまちづくり部会の委員と顔合わせをし、委員は、「大人である私たちは、みなさんの意見を大事にして計画を進めていきます。」と子ども企画委員の活躍に期待していました。

その他、今回のテーマ「八王子の自然を活かした遊び」のイメージづくりのために、ゲストティーチャーの話を聞きました。八王子市広聴課の職員に『大人が考える八王子の魅力について』、また、小宮公園

所長でパークレンジャーの蜂須賀さんに『自然とふれあう遊びや自然と共存するためのマナーについて』、写真を紹介しながら話していただきました。

自然とふれあうには

八王子の
魅力

その後、「どのような自然環境を活かした遊び、体験、居場所空間があればいいか。」「そのために解決しなければいけないことや私たちにできることはどのようなことか」について、グループで討議しました。子ども企画委員は、積極的に発言し、あっという間に時間が過ぎていきました。



公園に来ているのは小学生以下の子どもやご高齢の方ばかりです。中学・高校生に魅力が少ないのかな？魅力ある自然を活かした施設があれば・・・

6、第2回子ども企画委員学習会



7月24日(日)市役所の501会議室で、第2回子ども企画委員学習会を開催しました。小学5年生から高校2年生の9名の子ども企画委員が参加し、学生リーダー6名がサポートしました。

学習会は、学生リーダーのアイスブレイクを行い、楽しい雰囲気の中、スタートしました。

その後、「子どもとつくる遊び場とまちの参考事例」について写真を見ながら学習をしました。



グループワークでは、子ども企画委員が意見交換をし、テーマについて検討した後、9月4日の意見発表の原稿作成をしました。

学生リーダーがファシリテーターとして、グループワークの進行や発表原稿作成と意見発表のアドバイスをしました。

子どもは自然の遊びをしたいのに大人が危ないと言う。子どもは、安全に安心して遊びたいが、大人に監視されているようでは楽しめない。



7、子どもの声、届けます～子ども意見発表会～

9月4日（日）市役所の801会議室で、子ども意見発表会を開催しました。小学5年生から高校2年生の9名の子ども企画委員が、事前学習会でまとめてきた意見を市長と教育長に発表しました。今回は、子ども企画委員の発案で、『YES／NOカード』や『フリップ回答』などを行い、和やかに意見交換が行われました。

また、テーマである「八王子の自然を活かした遊び」について、各児童館の館内子ども企画委員が、地域遊び場マップやアンケート調査などを行い、パネル展示を行いました。

学生リーダーは、子ども企画委員の経験者や昨年度の経験者で、事前に何度も研修会や打ち合わせを行い、大学生としてまちづくりに参画するとともに、子ども企画委員をサポートしました。



市長挨拶

パネル展示



意見発表の様子



YES／NOカードを使って～「つつじの花の蜜を吸ったことがあるか？」



教育長挨拶



フリップを使って～「八王子の自然
と言って思い浮かべる場所は？」



市長・教育長が明確に答えていただいたので、私たちも責任を持って、もっと八王子がよくなるように行動していきます。
(子ども企画委員)



8、身近なところで

～子どもの遊び場・居場所である各児童館での活動～

各児童館で、夏休みの期間を利用して子どもの遊び場についてワークショップを行いました。

児童館	内容(アンケート、意見交換会、マップ作り、現地探索)	パネル展示の子ども意見(抽出) ★発言そのまま掲載
浅川	児童館来館の子どもに自然を活かして、どんな遊びをしたいかイメージしてもらい、そのイメージを模造紙に描いてもらいました。その遊びがどんな遊びか「クイズ」にして見学者に考えてもらいました。	「自然を活かした遊びクイズの回答」 →水かけ遊び、木登り、影ふみ、つり、カヌー、葉っぱ船、川飛込み、雪合戦、ネイチャーウォッチング、ポケモンGO、虫とり、草笛、水切り、クライミング、丘すべり、山びこ、花火、川およぎ、バーベキュー、魚つかみ
中郷	夏休み中の児童館来館の子どもを対象に「遊び場ポイント」についてアンケートを実施しました。 「日頃利用する公園や広場と遊び」と「よく行く自然の場所と遊びや活動」について質問しました。その回答をもとに、長房地域および西部地域の白地図の中にポイントで表した「マップ」を制作しました。	学生ボランティアの協力でランキング形式にまとめました。 「日頃利用する公園や広場と遊び」→陵南公園(プール、鬼ごっこ、ポケモン) 「よく行く自然の場所と遊びや活動」 →①浅川(南浅川含む)(川あそび、魚釣り、飛び込み、水きり) ②高尾山(ハイキング、登山)
南大谷	宿泊キャンプ時に小宮公園で、「自然を活かした遊び」(生き物調査、フィールドビンゴ、虫とり)を体験した後に、実際に参加した子どもたちの「アンケート」を実施しました。	【フィールドでの指令】 ①弁天池で生き物を5種類探せ。 ②5種類以上の落ち葉を拾ってチームで協力して絵をつくれ。 ③下の絵を探して、縦横ビンゴになるか。

		【アンケート】 ①キャンプの自然体験の感想 →虫とりが楽しい。 ②八王子市の中で自然を感じる場所は→小宮公園 ③自然を活かした遊びで思いつくのは→虫さがし、木のぼり、ターザンジャンプ、草船、草笛 ④自然を活かした遊びができる遊び場を作るとしたら、どんな遊び場がいいですか →危険な動植物などがいない広い場所、森の中の公園、作物と遊べる場所、森と川がある遊び場、川でボートができるところ、森のようなところ、自然が残っているところ
中野	館内の子ども企画委員が、中野周辺の「自然遊び場の散策」に行き、子どもが「写真撮影」をしました。撮影した写真を使ったり、遊び場のイメージの絵を書いたり、遊び場の希望を聞いたりして、「中野児童館遊び場マップ」を作成しました。	「あったらいい自然の遊び」 →木を切る遊び、森の木の滑り台、木のブランコ、森の水の滑り台、ありの巣あそび、泥遊び
北野	「自然を活かした遊びアンケート」を実施して、その結果をパネルに掲示しました。中高生をアンケートの対象とし、子どもの疑問である「自然を活かした遊びとは何か」を調査しました。	「自然の中で、どの遊びが自然を活かした遊びと言えますか」 →川遊び、木登り、サバイバルゲーム、ジョギング、サイクリング、アスレチック

		「自然でないところで、どの遊びが自然を活かした遊びですか」 →草木を使ってつくる秘密基地遊び、水を使った遊び 「どのような自然を活かした遊び場がほしいですか」 →花冠を作る、虫とり、どんぐりゴマ、虫とり
館ヶ丘	「八王子にある自然や、やってみたい遊び」について考えました。それらを踏まえたうえで「八王子の自然を活かした理想の遊び場マップ」を子どもが作成しました。	「八王子にある自然ってなんだろう」 →緑がいっぱい、夕焼けがきれい、川の水がきれい、生き物がたくさん 「いつもしている遊びは」 →おにごっこ、つり、散策、木登り、虫とり、植物採集 「こんな風に遊びたい」 →思い切り体をうごかしたい、アスレチックで遊びたい、自然の中で遊びたい、生き物を身近に感じたい 「八王子にある木や川などの自然を利用して釣り堀やアスレチック、広場などを作ってほしい」 →具体的には、 ①エサ台があり、自然にいる鳥たちが寄ってきます。 エサには八王子で採れた木の実などを使います。 近くにベンチがあり、エサ台に来た鳥を座って観察することができます。 ②アスレチックみたいに、思い切り体を使って遊べる場所です。



		簡単・普通・難しいランクがあって、危ないか危なくないかと思うくらいのアスレチックです。 ロープウェイやボルダリングなどの遊具があります。 ③自然に流れている川に直接つながてある釣り堀です。 子どもも大人も楽しんで自然の魚を釣ることができます。 ④広くてサッカーや鬼ごっこなどの集団遊びができる場所です。 芝生でピクニックや寝転び、皆で楽しむことができます。
松が谷	児童館の地域である松が谷地区にある子どもが選んだ大塚西公園を題材にしました。 「自然を生かした遊び場にするには」というテーマで、子どもがアンケート調査を実施しました。 その結果を子どもたちが、考察してパネルを作成しました。	「自然を生かした遊び場にするには」 →タイヤのブランコ、ターザンロープ、ロープウェイ、ハンモック、林の中の長く早く滑る滑り台、石を並べて作る遊ぶけんば、ジェットコースターみたいに早いロープウェイ、うんてい、木でできた遊具、自然の色（緑）を使った遊具などがほしい。 池を遊べるように広くしてほしい。 ①「問題点」 →小さい子どもが怪我をすることが多い 木や鉄の遊具は滑りやすい。 危険な虫（ハチ）にどうやって対処するか。 池が汚い。 ②「解決策」 →小さい子どもには保護者がつく。

		防腐剤などのメンテナンスをする。 危険個所にはマットを引く。 自分でも気を付ける。 皆で掃除をする。 ③「最後の感想」 →いろいろな意見を聞いて人にはさまざまな意見があると思いました 今回は小学生中心に聞いたので、次は中学生にどうしたら外で遊びたくなるか聞いてみたいです
川口	「地域の自然」をテーマにして、子どもが遊んだり過ごしたりしている実態(場所など)を調べました。 職員と遊び場を見に行き、子ども同士で語り合い、「子どもたちが理想とする未来の自然を活かした居場所や遊び場」の意見をパネルに集約しました。	「あったらいい自然を使った遊び」 →自由に入って遊んでもいい池がほしい。 木でできた駄菓子屋があったら楽しそう。 ハンモックがあったらいいな。 木にブランコやターザンロープがついていたらいいな。 木の上に誰でも使っていいツリーハウスがあったらいいな。 竹でできた長いローラー滑り台があったらいいな。 芝生の上で寝転びたい。 木にバスケットゴールがついていたらいいな。 浅いところや深いところがある川があったらいいな。 いつでも使っていい釣り堀がほしい。
元八王子	「自然を感じる場所」「自然を活かした遊び場」「こんな自然を活かした遊び場がほしい」というアンケートをもとに「夢の遊び場」をパネルに作成しました。	【パネルの絵の内容】 鳥や動物が暮らす木の上で過ごす。 虫とりや小動物と遊ぶ。 ターザンロープ 森の中のブランコ 森の中の滑り台

9、子どもの伴走者、そして、 まちづくりへの参画～学生リーダーの活動～

【募集チラシ】

【子ども意見発表会】～子どもたちが考える未来の八王子～

学生リーダー募集！

八王子市は、平成12年度に「八王子市子どもすこやか宣言」を行い、「子どもの権利」に関する普及・啓発をしています。

そして、子どもがまちづくりについて考え、発言する場を創出しています。市政への参加と理解を進めながら、子どもの権利条約にある「意見を表明する権利」を体现する場として「子ども意見発表会」を行います。

子ども企画委員（小学5年生～高校生年齢）を支援し、「子どもの意見表明」の重要性を体得する学生リーダーを募集します。

応募条件	八王子市内、または、周辺に在住・在学の大学生（大学院生を含む）・専門学校生であること。
応募方法	市内児童館、下記の中野児童館のいずれかから「学生リーダー申込書」を取得し提出してください。
募集期間	5月16日（月）～6月1日（水）
活動日 および内容	① 学生リーダーオリエンテーション（全3回） 【6/9（木）午後7時 市役所702会議室】 【7/21（木）、8/26（金） 午後7時 市役所501会議室】 ＊事業説明と学習会の子どもへの接し方について学びます。 ② 子ども企画委員との学習会（全2回） 【6/12（日）、7/24（日）午前10～12時 市役所501会議室】 ＊子どもの意見表明について支援します。 ③ 子ども意見発表会（本番1回） 【9/4（日）午後2時30分～4時 市役所801会議室】 ＊市長・教育長と子ども企画委員の意見交換の支援をします。
その他	① 活動1回につき、1,000円の謝金をお支払いします。 ② 会場までの交通費等は自己負担となります。 ③ すべてに参加できなくてもかまいません。 ④ この他、児童館での活動もあります。
申し込み先 及び問い合わせ先	八王子市立中野児童館（八王子市子ども家庭部児童青少年課） 住所：八王子市中野山王 3-6-27 電話：624-9559 担当 井垣

社会の一員である子どもの意見に耳を傾けよう！



市には、学園都市の特性を活かし、大学・市民・経済団体・行政などで構成する「大学コンソーシアム八王子」を中心に学園都市づくりがすすめられており、学生の視点もまちづくりに活かしていくことを重視しています。

また、児童館が、地域や子どもへの貢献を希望する学生のボランティア活動拠点となっています。

学生は子どもと大人をつなぎ、子どもの考えを自然と引き出す力を持っています。

サポートをする学生は、子ども企画委員にとって、未来の自分の姿を

イメージできるロールモデルとなります。子ども企画委員から子どもの参画を支える学生リーダーへ、そして、いずれは、地域を支える大人へと成長します。

今回は、12名の学生リーダーが参加しました。そのうち3名が前年度からの学生リーダーの継続者であり、6名が子ども意見発表会の参加者でした。

市長、教育長に提言をする意見表明機会の仕組みを構築した平成20年の「子ども議会」から8年後の今年度、小学生として参加していた子どもが大学生になって学生リーダーとして参加しました。12名中6名が、参加者から支援者へと、青少年のリーダーに成長しています。

学生リーダーの経験者は、まちづくりへの関心も高く、学生の視点をまちづくりに活かすために、学生リーダーの代表が、第5期八王子市市民参加推進審議会委員へと就任しました。

子ども企画委員として、自分が過去に発言した意見や今年度の子ども企画委員の提案が、八王子の子ども施策に反映され、子どもにやさしいまちづくりをに向けて、若者として主体的に参画していくことになります。

氏名	ふりがな	学年	学校名
山中 美幸	やまなか みゆき	1	日本大学
西野 実樹	にしの みき	2	東京家政大学
志間 達也	しま たつや	3	帝京大学
毛利 太一	もうり たいち	1	大正大学
濱田 翔太	はまだ しょうた	1	武蔵野大学
工藤 壮一郎	くどう そういちろう	4	拓真高校
尾形 菜々子	おがた ななこ	1	専修大学
山本 郁矢	やまもと ふみや	3	東邦大学
黒川 沙緒里	くろかわ さおり	3	明星大学
二上 拓己	ふたかみ たくみ	2	明星大学
中坪 真勇菜	なかつぼ まゆな	1	創価大学
高田 博美	たかた ひろみ	1	創価大学

【山本郁矢さん（東邦大学 3 年）】

本日は多くの方々のご協力の元、このような機会を設けて頂き誠にありがとうございます。

学生リーダーとして活動してきた我々は今日にいたるまで、子ども企画委員が、八王子の自然について考えてきたことや、求めていることについて、市長、教育長へ発表する手助けをするという形で関わってまいりました。

子ども企画委員は時にグループとなって意見を交わし、時に自らの意見をまとめ、中にはそれらをどのように表現すれば良いのか悩んでいたかのような準備の期間を経て、当日、子ども企画委員の考えを自分の口にて説明することが出来たのは、大きな成長であることに違いはないと思います。

一方、学生リーダーとして参加してきた我々もまた、このような機会に廻りあえたことで、成長できたのではないかと思います。

例えば、私は昨年度も学生リーダーの一員として本企画に参加させていただけたので、昨年得られた知識と経験を持って他の皆さんにアプローチしていくことが出来ました。また、学生リーダーの中には子ども企画委員として毎年参加し続け、学年が上がり、子ども企画委員をサポートする立場になった者もいます。我々のこのような活動の積み重なりが進み、もっともっと市政について興味や関心、そして自分なりの意見を持ってくれる子どもたちや学生が増えてくれることを切に願うばかりです。

私は市長、教育長へ若い世代の声を直接届けられるこの企画が存在していることそのものが、非常に重要だと感じております。まだ選挙権を持たない若い世代にもこのような機会を設けることで、早い段階から市政に関心を持つ事が出来るからです。



我々はこのような機会を後の世代にも与えてあげられるように、私達も若者として責任を持って参画していければと思います。

最後になりますが、石森市長、安間教育長、この企画に携わってくれた方々、そして、この場に集まってくださった皆様に改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。



10、子どもの声に耳を傾けます

～子どもと大人の意見交換会～

今までは、「子ども意見発表会」というかたちで市長や教育長に対して、自分たちの意見を表明する機会はありませんでしたが、今回から初めて、子どもたちと担当所管との意見交換を行う場を設け、子どもたちと大人が相互理解をするきっかけの場をつくりました。

(1) 子ども企画委員との意見交換会

① 子どもと大人の意見交換会事前勉強会

10月9日（日）市役所の701会議室で「子どもと大人の意見交換会事前勉強会」を開催しました。子どもたちと各施策の実務担当者が直接話しを聞き、「担当所管との意見交換会」に向けて準備をしました。

② 担当所管との意見交換会

10月16日（日）、市役所の701会議室で「担当所管との意見交換会」を開催し、子ども企画委員4名（学生リーダー4名）と担当課長6名が参加しました。子どもたちは緊張した面持ちで意見を述べていました。



また、意見交換の後には子どもにやさしいまちづくり部会（→3ページ参照）の委員と率直な意見交換を行うことができました。

(2) 意見交換会後のヒアリング

「担当所管との意見交換会」に出た意見をふまえ、担当課長に対し、考えの変化や取り組み状況について聞き取りを行いました。主な意見としては、以下のとおりです。

- ・ まちづくりを進めるにあたって、「子どもの意見を取り入れる」仕組みが出来れば、担当所管で子どもの意見を取り入れやすくなると思う。
- ・ 子どもたちの考え方と、事業を進める担当所管の考え方の相互理解が大事であると思う。
- ・ 子どもの意見を生かすために、子どもたちがやりたい事の前段にあるメリット、デメリットを子どもたち自身が事前に調べ、考えを深めることで、様々なアイデアが生まれ、実現する可能性が高くなると思う。
- ・ 子どもたちからの意見として挙がった、ターザンロープの設置や自然の物を食べる体験等は、今後実施を予定している。



11、子どもたちの声

～子ども企画委員の意見・提案～

【子ども企画委員名簿と提案テーマ】

氏名	学年	学校名	提案テーマ
富樫 康仁	小学5年	帝京大学小学校	「タやけ小やけふれあいの里 ホタルのタベ」について
天野 奈津子	中学3年	東京都立南多摩中等教育学校	自然環境を活かした複合型施設の設置について
渡邊 佳斐	中学3年	鍵水中学校	安心安全な公園の設置について
五十嵐 春菜	中学3年	鍵水中学校	自然を体で感じる体験機会について
高瀬 美羽	中学2年	松が谷中学校	親と子どもの危険に対する食い違いについて
下谷 菜々美	中学3年	第六中学校	採取可能な多様な植物の植栽について
佐藤 佑果	中学2年	松が谷中学校	身近で安全な動物と触れ合える施設の設置について
三嶋 紗良	中学2年	松が谷中学校	木の実を使った料理を作る会の開催について
山本 創太	高校2年	サレジオ工業高等専門学校	雑木林の自然を使ったアスレチックの設置について





【子ども企画委員の意見】

○天野奈津子

私は、東京都立南多摩中等教育学校の3年の天野奈津子です。市長に提案します。私は、中学・高校生も自然に触れ合え、楽しめる場所を作っていきたいです。将来自然を守っていくのは、子どもの私達です。しかし、小学生の頃は女子も男子も自然の中で遊んでいましたが、物心のついてきた中学・高校生はどうでしょうか。中学生の私も今では外で遊ぶことさえ少なくなってしまいました。中学・高校生が自然で遊ぶなくなった理由は簡単です。一つは勉強により遊ぶ時間が少なくなったこと。二つ目は、中学・高校生には自然に魅力が少ないということです。例として公園をあげても、来ている方は、小さな子どもやご高齢の方ばかりです。中学・高校生が外で遊ぶものとする、プール、サイクリング、球技などのスポーツが多いです。

前の意見を受けて、将来自然を守っていく若者を対象とした『自然環境を活かした複合型施設』が必要だと思います。具体的な施設のイメージとしては、外で遊ぶのはあまり好きではない人でも来ていただけるように、集中力やリラックス効果のある森林を活かし、森林の中に勉強スペースを、そして自然の中で楽しく遊んでいただけるように、屋外の自然を楽しめるプールや、四季の美しい自然を見られるサイクリングコースなどを作ってほしいです。

○山本創太

私は、八王子市横川に在住のサレジオ工業高等専門学校2年の山本創太です。市長に提案します。私は、自然の雑木林を一つ使って自然のアスレチックを作ってほしいと思います。

なぜなら、最近、公園にあった遊具がいつの間にかなくなるなど、子どもが遊べる場所が少なくなってきたからです。

広くて長い時間遊べる場所が増えれば、遊び盛りの子どもの遊び場になると思います。

しかし、長い時間遊ぶとなると日が落ちて不審者などが出てきて少なからず危険が増えます。そこで、入口などに管理人がいれば不審者対策ができて、親や子どもも安心して遊べると思います。

また、雑木林の中なので木が高いところがあるので、遊具は極力低い木のところに作り、仮に高い木に作るのなら、かなり強力なネットを遊具の下に張れば落ちて怪我をする危険も減ると思います。



○渡邊佳斐

私は、八王子市立鑓水中学校の3年渡邊佳斐です。市長に提案します。私は、子どもが安心して遊べる公園を作るべきだと思います。

なぜなら、先日子ども企画委員の話し合いで、公園は危ないので、子どもだけでは遊びに行ってもいけないという人が多くいました。

その人たちにも公園で楽しく遊んでもらうために、二つのことを考えました。不審者対策と怪我の問題です。そのためには、見守りをするレンジャーさん（専門の職員）が必要です。また、公園に柵をつけて保護者は除く大人を入れないようにすると思います。

○高瀬美羽

私は、八王子市立松が谷中学校の2年高瀬美羽です。教育長に提案します。

自然を活かした遊びについて私は、二つの点に着目しました。一つ目は、自然の中で遊ぶということについての親と子ども意見の食い違いについてです。

「自然遊びはいいけど危険があるので遊ばせられないところもあります。やはり、見守ってくれている人がいないと心配かな」と母は言っていました。しかし、それとは反対に私の弟は、「見られていると思い切り遊べない」と言っていました。

子どもが思い切り遊んでほしいので、親が見守らないでも危険を回避できるかと考えると、川の深いところなどの危険場所については防犯マップなどに危険と書き込むことが必要だと思います。そして、自分たちが意識して防ぐように、皆で遊ぶなどすることが大切だと思います。全体として「いかのおすし」「出かける場所を確認する」など基礎をしっかりすることで楽しく外で遊ぶことができます。

○五十嵐春菜

私は、八王子市立鑓水中学校の3年五十嵐春菜です。市長に提案します。私は体で感じる体験を増やしていくべきだと思います。

例として、自然の食べられるものを実際に食べて、味覚で感じる体験を増やせばいいと思います。先ほども言った自然のものを食べる体験や木、虫、水、花など自然から学べるからです。目で見るものだけではなく、味覚や嗅覚で感じるとより自然の良さを知ることができると思うからです。そのために解決しないといけない問題があると思います。場所の確保や食中毒です。この課題については大人の協力を頂きたいと思います。



○三嶋紗良

私は、松が谷中学校 2 年の三嶋紗良です。市長に提案します。私は、木の实を使った料理を作る会を開くのがいいと思います。

なぜなら、植物を観るだけでは、つまらないという人も多いと思うからです。みるだけではつまらなくても、食べたり作ったりするなら、八王子市の自然も好きになってもらえると思います。また、どんぐりクッキーは縄文時代の頃に作られていたものなので、歴史についても興味を持ってもらえるかなと考えたからです。

○下谷菜々美

私は、八王子市立第六中学校の下谷菜々美です。市長に提案します。私は、身近な公園に、様々な植物を植えて欲しいです。

なぜなら、八王子の自然を体感し、興味を持つためには、身近な公園に様々な植物を植えることが一番手っ取り早く、効果的だと思うからです。私は、小さいとき、ツツジの花の蜜を吸ったり、ドングリを拾ったり、四つ葉のクローバーを探したりして遊んでいました。これらは自然豊かな八王子だからこそできる遊びです。また、自然で遊ぶことは子どもの感性を豊かにすることにもつながると思います。

しかし、そう簡単にはいかないもので、自然と触れ合える機会がある時に呼びかけたり、知ってもらうことから進めていき、触れ合える施設を設置してほしいと思います。

公園の自然を増やすといっても、花壇を増やすというわけではありません。いたる所に生えていて自由にとってもいいよという植物を増やして欲しいです。

○佐藤佑果

私は、八王子市立松が谷中学校の2年佐藤佑果です。市長に提案します。八王子市は、自然があり、鳥、たぬき、うさぎなどの動物もたくさんいるのにそれがいかせてはおらず、知られていないと思いました。それは最近、オシャレに目がいき、自然などに目がいていないと思うからです。

小さいころから自然に親しんで、中学生、高校生、大学生になっても自然を大事にしてもらうよう身近に安全で動物と触れ合える所があれば良いと思います。





○富樫康仁

僕は、みつい台在住の帝京大学小学校の5年富樫康仁です。市長に提案します。僕は、「タやけ小やけふれあいの里 ホタルのタベ」の夜間の開園時間、開園期間を長くしたほうがよいと思います。

理由は、ホタルの夜間開園時間が午後6時から午後9時までの3時間、開園期間が6月11日から6月26日の2週間と時間、期間ともに短いからです。また車が大変に混雑するからです。

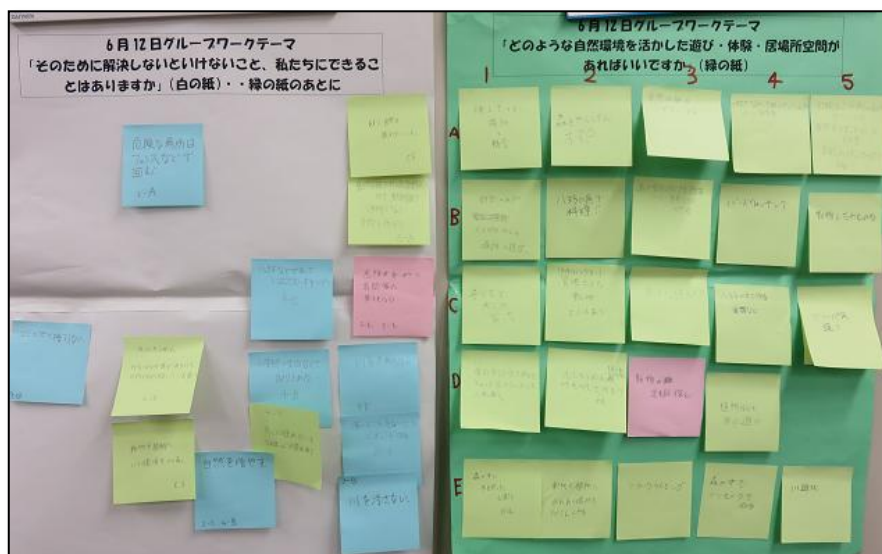
夜間開園時間、開園期間を延ばせばホタルを長くたくさんの人が鑑賞でき、車の混雑も少なくなると思います。

具体的には①土・日曜日は、午後10時まで開園時間を延長する。

②夜間開園期間を1か月以上延ばす。

③混雑を減らすためにバス便を増発し、自家用車を減らし、環境にやさしくする。

さらに夜店を出したり、ツリーハウスを作ったりして、お祭りのように子どもたちが楽しめるようにすればいいと思います。





12、活動経過と子ども意見発表会に 協力していただいた方

【5月15日（日）～子ども企画委員、学生リーダーの募集】

子ども企画委員 9名、各児童館子ども企画委員 15名
学生リーダー12名

【6月9日（木）第1回学生オリエンテーション】

学生リーダー7名
都市戦略部 都市戦略課 担当者

【6月12日（日）第1回子ども企画委員事前学習会】

子ども企画委員 8名、学生リーダー8名
総合経営部 広聴課 担当者
都立小宮公園 蜂須賀公之 所長 、山田陽子パークレンジャー

【7月21日（木）第2回学生オリエンテーション】

学生リーダー6名

【7月24日（日）第2回子ども企画委員事前学習会】

子ども企画委員 9名、学生リーダー5名
八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
子どもにやさしいまちづくり部会 井上会長、部会委員

【8月26日（金）第3回学生オリエンテーション】

学生リーダー3名

【7月～9月 各児童館での子ども意見発表会の取り組み（パネル作成）】

【9月4日（日）子ども意見発表会】

子ども企画委員 9名、学生リーダー11名
参加者・来場者計 67名
八王子市長、教育長



【10月9日（日）子どもと大人の意見交換会事前勉強会】

子ども企画委員2名、学生リーダー4名

産業振興部 観光課 担当者
学校教育部 指導課長
学校教育部 企画調整担当統括指導主事
まちなみ整備部 公園課 担当者
生涯学習スポーツ部 学習支援課長

【10月16日（日）担当所管との意見交換会】

子ども企画委員 4 名、学生リーダー4 名

子ども家庭部長
子ども家庭部 子どものしあわせ課長
子ども家庭部 児童青少年課長
産業振興部 観光課長
学校教育部 企画調整担当統括指導主事
学校教育部 保健給食課長
まちなみ整備部 公園課長
生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課長
生涯学習スポーツ部 学習支援課長

コーディネーター：児童館長

主催：子ども家庭部児童青少年課 児童館
子ども家庭部子どものしあわせ課



平成 28 年度 子ども意見発表会報告書

発 行 八王子市子ども家庭部

平成 29 年 5 月

住 所 〒192-8501

八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号

電 話 042-620-7435

F A X 042-627-7776